

善兵衛ランド

☎072-447-2020
メール: zenbe-h@city.kaizuka.lg.jp



北の空には、W(またはM)の星の並びをしたカシオペア座が高くてぼってきています。カシオペア座の両端の2つの星をそれぞれ結んで延長すると1点で交わりま。その点からWの真ん中の星までの距離を5倍のばしたところに北極星が見つかります。北極星は、こぐま座のしっぽの先にあり、いつも北の方角を示しています。夏場の北斗七星に代わり、これからの季節はカシオペア座から北極星をたどれます。

カシオペアは、ギリシャ神話では、古代エチオピアの王妃です。自分の娘アンドロメダの美しさを自慢したため、国が大変なことになるってしまいます。隣にはケフェウス王の星座があります。



動画はこちら

ケフェウス座には「ガーネットスター」と呼ばれる星があります。イギリスの天文学者ハーシェルがこの星を観察したとき、その深い赤色に驚き、まるでザクロ石(ガーネット)のようだとメモを残しています。深い赤色に見えるのは、表面温度がおよそ2000度と低いからです。大きさは太陽の約1500倍もある「赤色超巨星」で、地球からおよそ3000光年ほどの距離にあります(諸説あり)。4等星で、肉眼ではわかりにくいですが、望遠鏡や双眼鏡では、その深い赤色を観察することができます。

★天文イベント

月を見よう[ID34712]

▶日時 9月19日(土)午後7時～

中秋の名月観望会[ID6983]

▶日時 9月25日(金)午後7時30分～

★惑星の観察

昼前から金星が観察できます。9月末には、土星が善兵衛ランドの望遠鏡で、午後8時頃から観察できます。

★9・10月の休館日

水曜(9月23日は開館)、10月8日(木)・9日(金)・13日(火)・19日(月)・20日(火)

※9月24日(木)と10月30日(金)は、集会室と多目的室のみ利用できます。

募集

かいづか
コスミックカレッジ [ID7196]

ペットボトルでロケットを作って、ロケットの飛びしきみを確認めよう!

▶日時 10月24日(土)午後1時30分～4時

▶場所 東山小学校

▶対象 小・中学生(小学1～3年生は保護者同伴)

▶定員 20組(多数の場合は抽選)

▶申込 9月10日(木)～20日(日)に住所・氏名(子どもと保護者)・ふりがな・学年・電話番号を、メール・窓口で



原稿の締切は、希望掲載月の前々月の20日(休庁日の場合は前日)です。

掲載については、魅力づくり推進課(☎072-433-7059)へ、記事の内容については各問合せ先へお願いします。

子ども大人英会話・ハングル

▶日時 ハングル講座: 月曜午後5時30分～(60分)、他のクラスは要問合せ▶場所 浜手地区公民館▶内容 ネイティブの先生と楽しく学びながら、基礎をしっかり身につける▶参加費 60分1,000円(5人以上で開催)▶問合せ先 NPO法人岸和田国際交流協会☎090-2114-4790

子育てイライラ解決のヒント

▶日時 9月28日(月)午前10時～11時30分▶場所 青少年センター講座室▶内容 イライラの原因を知り、子育てがラクになるヒントを学びます▶問合せ先 NPO法人えーる☎080-3130-3567



詳しくはこちら

自然遊学館

☎072-431-8457 火曜休館
メール: shizen.desk@icloud.com

▶申込 住所(番地以下不要)・氏名(参加者全員)・年齢電話番号を記入し、メール・窓口で(多数の場合は、市内在住の方を優先し抽選)

大阪府レッドリスト昆虫調査
～三ヶ山周辺でトンボやバッタの観察～



大阪府レッドリスト2014改定に向けた昆虫調査を行います。絶滅危惧種となるトンボやバッタの仲間と一緒に調査観察してみましよう。

▶日時 9月20日(日)午後1時30分～3時30分(雨天中止)

▶場所 三ヶ山周辺

▶講師 鞍井希風様(生物多様性TEAM115)
▶対象 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)
▶定員 15人
▶締切 9月15日(火)



海辺の昆虫を調べてみよう!



大阪で「全国豊かな海づくり大会」が開催されることにあわせて、50日前カウントダウンイベントを行います。海辺でみられる昆虫を調べながら、海と人のつながり、海の大切さ、海を守る方法などについて考えてみましょう。

▶日時 9月23日(水)午後1時30分～3時30分(雨天中止)

▶場所 近木川河口・二色の浜

▶講師 鞍井希風様(生物多様性TEAM115)

▶対象 5歳以上(中学生以下は保護者同伴)

▶定員 30人

▶締切 9月18日(金)

近木川の鮎を調べよう!

近木川はその昔「日根鮎川」ともよばれ、アユが生息する川でした。近年、再び見られるようになったアユと一緒に採集しませんか。

▶日時 9月27日(日)午前10時～正午(雨天・川の増水時中止)

▶集合 午前9時50分に自然遊学館へ

▶講師 河野通浩様(阪南市自然と本の会)

▶対象 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)

▶定員 30人(中学生以下は保護者同伴)

▶締切 9月21日(月)



生きものだいすき!
「カエルの脱皮」



皮をぬぐ

ヘビが脱皮するのは知るところだと思いますが、カエルが脱皮をすることをご存じでしょうか。思っている以上にかなり頻りに脱皮をしています。あまり気づかない理由の一つには、カエルをはじめ、両生類は脱ぎながら食べてしまうことがあげられます。手足や

口を使って、全身の皮を器用に脱いで食べていきます。そして、古くなった体の表面の皮を新しくするので。

昆虫の脱皮は外骨格という殻を脱いで大きく成長するために脱皮をしますが、同じ外骨格をもつエビやカニの仲間は大人になっても脱皮をします。両生類や八虫類も大人になっても脱皮をします。しかし、手足の無いヘビの脱皮は口先や頭のあたりを岩や木などにこすりつけて古い皮を破り、小さな子が自分の靴下を脱ぐように、脱皮後の抜け殻は裏返しになっていることが多いようです。ヘビはご存じのように、脱皮した皮は食べずに残し、冬眠中は脱皮もしません。

アズマヒキガエルの脱皮に関する論文を見ると、脱皮の間隔は温度が高いほど短くなり、オスよりもメスの方がその期間が短く、年齢を重ねるほどその間隔が長くなるようです。また、驚くことに、成体では、冬眠中にも2～3回脱皮をするようなことも記述されていました。

皮を脱ぐだけのことのように思いますが、生きものにとっては体力が必要な命がけの行為でもあります。